



平成 20 年 3 月 21 日

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社 (コード 6729)  
代表者名 代表取締役社長 大肚直人  
問合せ先 取締役常務執行役員経営管理本部長 岡谷茂美  
TEL : 03-3242-0100

## オンキヨーとマイクロソフトが、包括的な特許クロスライセンス契約と Windows Rally™ プログラム契約を締結

～ 特許の相互利用による技術革新、ならびに最先端分野の製品強化をめざす ～  
(当リリースは2008年3月20日に米国で発表されたリリースの抄訳をベースにしています)

オンキヨー株式会社 (Onkyo Corporation、東京本社：東京都中央区) ならびにマイクロソフト コーポレーション (Microsoft Corporation、本社：米国ワシントン州レッドモンド) は、米国時間3月20日 (木)、包括的な特許クロスライセンス契約を締結したことを発表しました。両社はこの契約にもとづき、高品質の家庭用エンターテインメント製品分野における大幅な技術革新、ならびにお客様と消費者向けエクスペリエンスの強化をはかります。両社は、広範な消費者製品を対象とする本契約について、特許ポートフォリオの相互利用を通じて両社に大きな利益をもたらすものと期待しています。



オンキヨー株式会社と、マイクロソフトが知的財産の分野において協力することは、高品質のハードウェア製品と柔軟で信頼性に富んだソフトウェアテクノロジーの開発がさらに促進されることを意味します。結果として、AV機器、パーソナル コンピュータ、そしてホームシアター システムといった市場のシームレスな統合と技術革新が加速することになります。



マイクロソフトのIntellectual Property & Licensing部門担当バイスプレジデントであるオラシオ グティエレス (Horacio Gutierrez) は、「業界のリーダー同士が知的財産のライセンスを通じて協力し合うことで、技術革新をさらに促進させITのエコシステム全体に利益をもたらすことができます。我々は、マイクロソフトの保有する膨大な特許ポートフォリオに誇りを持っており、協力的なライセンスプログラムの締結を通じてオンキヨーのような業界リーダーとの協力態勢を強化し、革新的でエキサイティングなテクノロジーの開発を進めていきたいと思っています。」と述べています。



## Windows Rally™ プログラム契約

オンキヨーとマイクロソフトは、協力関係の拡大とユーザー エクスペリエンスの強化を推進するためのさらなる取り組みとして、Windows Rally プログラム契約も締結しました。このプログラムの目的は、マイクロソフトのテクノロジーや合理的なライセンス方式、ならびに最新の接続機能を備えた製品やサービスを提供するための標準化されたプラットフォームを必要とするハードウェア メーカー、ソフトウェア開発業者そしてサービス プロバイダ向けにマイクロソフトが提供しているテクニカル ガイダンスを、オンキヨーが利用できるようにすることです。Windows Rally プログラムに関するより詳しい情報は、以下のサイトを参照ください。

URL: <http://www.microsoft.com/japan/whdc/rally/default.mspx>

オンキヨーの執行役員事業開発本部長である奥田伸明は、「今回マイクロソフトと新たな協業態勢を組むことになったことを非常に喜んでおります。当社は、昨年にはPCメーカーのソーテックをグループに加えており、オーディオ、ビジュアル、そしてコンピュータのテクノロジーやエクスペリエンスの融合を進めています。今回のマイクロソフトとの合意により、テクノロジー、コミュニケーションそしてエンターテインメントを融合することでさらに優れたソリューションの実現が可能になると考えています。今回のマイクロソフトとの合意は当社にとって極めて重要な協力関係の拡大を意味するだけでなく、お客様のニーズへのさらなる対応を進めようとする当社にとって大きな力となるものです。」と述べています。



## オンキヨー株式会社について

1946年に創業したオンキヨー株式会社は、高品位なオーディオ、ビジュアル商品、スピーカー、PC関連製品などを製造・販売する、ホームオーディオ市場における世界的有力企業です。2007年には、PCメーカーである株式会社ソーテックを傘下に加え、最近では、同社の中核ともいえるべき強力なアナログ技術を背景に、高品位なオーディオ機能を組み込んだパーソナル コンピュータの開発にも力を入れています。オンキヨーはまた、車載用、フラットテレビ用、ゲーム機用のスピーカーといったOEMビジネスの分野でも顕著な実績を残しています。



## テクノロジー ライセンス供与についてのマイクロソフトの方針

本ライセンス契約は、知的財産が、健全かつ活気に満ちたITエコシステムの実現に重要な役割を果たすことを示す事例の一つです。マイクロソフトは、自社のIPライセンスプログラムを2003年12月に開始して以来、これまでに200件以上のライセンス契約を締結してきましたが、今後とも、お客様やパートナー企業ならびに競合他社が、マイクロソフトのIPポートフォリオを利用しやすくするためのプログラムを推進していく方針です。マイクロソフトのIPライセンス プログラムは、マイクロソフトが積み重ねてきた膨大な研究開発投資や、さらなる拡大を続ける広範な特許ポートフォリオならびにIPポートフォリオの公開を目的として開始されたものです。この一年マイクロソフトは、アルパイン株式会社、富士ゼロックス株式会社、株式会社ケンウッド、京セラミタ株式会社、LG Electronics、日本電気株式会社、Nortel Networks, Novell Inc., オリンパス株式会社、Samsungならびにセイコーエプソン株式会社との間に同様の契約を締結してきました。マイクロソフトのライセンス プログラムの詳細に関しては、以下のサイトをご参照ください。 <http://www.microsoft.com/ip>

### 【報道関係者の問い合わせ先】

オンキヨー株式会社 総務部 平古場 祥介

電話：03-3242-0100

マイクロソフト株式会社 広報部 石井、岡部

電話：03-4523-3210（部門代表）、電子メール：[mskkpr@microsoft.com](mailto:mskkpr@microsoft.com)